

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第5期第3四半期(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

【会社名】 ジューテックホールディングス株式会社

【英訳名】 JUTEC Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 足立 建一郎

【本店の所在の場所】 東京都港区芝大門一丁目3番2号
(当社は、平成25年12月24日付で東京都港区芝五丁目26番24号から上記に本店移転いたしました。)

【電話番号】 03-6435-9100

【事務連絡者氏名】 執行役員財務経理部長 岩谷 昌弘

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝大門一丁目3番2号
(平成25年12月24日付の本店移転に伴い、東京都港区芝五丁目26番24号から上記へ変更となりました。)

【電話番号】 03-6435-9100

【事務連絡者氏名】 執行役員財務経理部長 岩谷 昌弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第4期 第3四半期 連結累計期間	第5期 第3四半期 連結累計期間	第4期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	114,326	129,392	152,388
経常利益	(百万円)	1,423	1,566	1,803
四半期(当期)純利益	(百万円)	755	855	871
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	713	1,100	947
純資産額	(百万円)	7,540	8,779	7,774
総資産額	(百万円)	67,500	72,594	63,019
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	63.39	71.76	73.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	11.2	12.1	12.3

回次		第4期 第3四半期 連結会計期間	第5期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	30.54	30.20

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容に、重要な変更はありません。

なお、平成25年4月1日付で株式会社イシモクを存続会社として、同社と江守建材工業株式会社を合併しイシモク・エモリ株式会社としたほか、同日付で株式会社ジューテックを存続会社として、同社と株式会社ジューテック秋田を合併しております。また、平成25年10月1日付で株式会社ジューテックを存続会社として、同社とジェイライフサポート株式会社を合併したほか、同日付でジューテックホーム株式会社を存続会社として、同社とウェルテック株式会社を合併しております。

この結果、平成25年12月31日現在、当社グループは、当社、連結子会社9社、非連結子会社2社及び関連会社1社で構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却へ向けた金融政策や経済政策の実施に加え、円安傾向の継続や株式市場の活性化などにより景況感が改善し、個人消費についても、高額商品を中心に消費者マインドの回復が見られる状況での推移となりました。

当住宅関連業界におきましても、住宅ローン金利の先高感や消費税率引き上げ前の駆け込み需要などの影響から、新設住宅着工戸数は堅調な推移となっており、建築資材の需要は底堅く推移しておりますが、一部原材料の価格上昇や職人不足などの不安要素も顕在化してきております。

このような環境の中で当社グループは、市場ニーズの高い太陽光発電システムを始めとした省エネ、創エネ、蓄エネ商材や、環境に配慮し合法的に切り出された合法木材や合板の拡販に努めました。また、平成25年4月に北陸地域に展開する子会社2社を統合したほか、平成25年10月には神奈川県を中心に主に戸建注文住宅の請負事業を行っているジューテックホーム株式会社と首都圏を中心に主にマンションリノベーション工事を取り扱うウェルテック株式会社を統合し、両社の機能の融合によるリフォーム工事への対応力強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、129,392百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益が1,191百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益が1,566百万円（前年同期比10.1%増）となりました。また、四半期純利益については、855百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して9,575百万円増加の72,594百万円となりました。これは主として、電子記録債権を含む売上債権が10,038百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比して8,570百万円増加の63,815百万円となりました。これは主として、電子記録債務を含む支払債務が5,010百万円及び短期借入金が3,930百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比して1,005百万円増加の8,779百万円となりました。これは主として、利益剰余金が759百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.2ポイント減少の12.1%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、従業員数に著しい増減はありません。

(6) 仕入、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、仕入、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

新設

前連結会計年度末において計画中であった株式会社ジューテックの「仙台倉庫」は、次のとおり計画内容が変更となり、株式会社グリーンハウザーにて「新物流センター」を新設することとなりました。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手(予定) 年月	完了(予定) 年月	完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
(株)グリーン ハウ ザー	新物流 センター (仙台市宮 城野区)	住宅資材 販売	倉庫	262		自己資金	平成26年 2月	平成26年 8月	

(注)上記金額には、消費税等は含まれておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,000,000
計	47,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,971,350	11,971,350	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	11,971,350	11,971,350		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日		11,971,350		850		294

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 56,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,905,900	119,059	
単元未満株式	普通株式 8,550		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,971,350		
総株主の議決権		119,059	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式19株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ジューテック ホールディングス株式会社	東京都港区芝五丁目26-24	56,900		56,900	0.48
計		56,900		56,900	0.48

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役	専務取締役 社長特命事項担当	嶋田 清美	平成25年6月27日
取締役 社長特命事項担当	取締役	伊東 孝則	平成25年6月27日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,556	9,144
受取手形及び売掛金	¹ 34,158	¹ 44,197
たな卸資産	3,311	3,658
繰延税金資産	359	214
その他	1,879	1,504
貸倒引当金	777	828
流動資産合計	48,486	57,890
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,102	8,866
その他	2,199	2,312
有形固定資産合計	11,301	11,178
無形固定資産		
のれん	139	119
その他	262	246
無形固定資産合計	401	365
投資その他の資産		
投資有価証券	1,449	1,848
その他	2,444	2,296
貸倒引当金	1,065	985
投資その他の資産合計	2,828	3,159
固定資産合計	14,532	14,704
資産合計	63,019	72,594
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 44,419	¹ 49,429
短期借入金	2,120	6,050
1年内償還予定の社債	160	160
1年内返済予定の長期借入金	789	712
未払法人税等	758	155
賞与引当金	615	306
その他の引当金	64	46
その他	1,600	1,833
流動負債合計	50,528	58,693
固定負債		
社債	220	140
長期借入金	2,220	2,599
繰延税金負債	651	769
引当金	438	471
その他	1,186	1,142
固定負債合計	4,717	5,121
負債合計	55,245	63,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	850	850
資本剰余金	294	294
利益剰余金	6,268	7,028
自己株式	14	14
株主資本合計	7,398	8,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367	612
繰延ヘッジ損益	1	1
その他の包括利益累計額合計	369	614
少数株主持分	6	7
純資産合計	7,774	8,779
負債純資産合計	63,019	72,594

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	114,326	129,392
売上原価	103,872	117,726
売上総利益	10,453	11,665
販売費及び一般管理費	9,349	10,474
営業利益	1,104	1,191
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	29	33
仕入割引	308	351
不動産賃貸料	107	114
その他	157	167
営業外収益合計	612	673
営業外費用		
支払利息	71	62
手形売却損	13	9
売上割引	185	202
その他	24	22
営業外費用合計	294	298
経常利益	1,423	1,566
特別利益		
固定資産売却益	90	5
負ののれん発生益	24	-
特別利益合計	115	5
特別損失		
減損損失	5	-
固定資産除却損	14	12
固定資産売却損	1	5
特別損失合計	21	17
税金等調整前四半期純利益	1,516	1,554
法人税、住民税及び事業税	651	562
法人税等調整額	106	136
法人税等合計	757	698
少数株主損益調整前四半期純利益	758	855
少数株主利益	3	0
四半期純利益	755	855

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	758	855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	244
繰延ヘッジ損益	2	0
その他の包括利益合計	45	244
四半期包括利益	713	1,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710	1,099
少数株主に係る四半期包括利益	3	0

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更)
江守建材工業株式会社は、平成25年4月1日付で株式会社イシモクを存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。なお、株式会社イシモクは同日付でイシモク・エモリ株式会社に商号を変更しております。
株式会社ジューテック秋田は、平成25年4月1日付で株式会社ジューテックを存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。
ジェイライフサポート株式会社は、平成25年10月1日付で株式会社ジューテックを存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。
ウェルテック株式会社は、平成25年10月1日付でジューテックホーム株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しておりません。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	334百万円	1,418百万円
支払手形	168 "	135 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	265百万円	322百万円
のれんの償却額	17 "	26 "
負ののれんの償却額	6 "	6 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47	4	平成24年3月31日	平成24年6月29日
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	利益剰余金	35	3	平成24年9月30日	平成24年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47	4	平成25年3月31日	平成25年6月28日
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	利益剰余金	47	4	平成25年9月30日	平成25年11月29日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、全セグメントに占める「住宅資材販売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいため記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間に発生した企業結合等については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	63円39銭	71円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	755	855
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	755	855
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,914	11,914

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第5期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）中間配当について、平成25年11月1日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	47百万円
1株当たりの金額	4円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年11月29日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

ジューテックホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 東 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平郡 真 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジューテックホールディングス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジューテックホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。